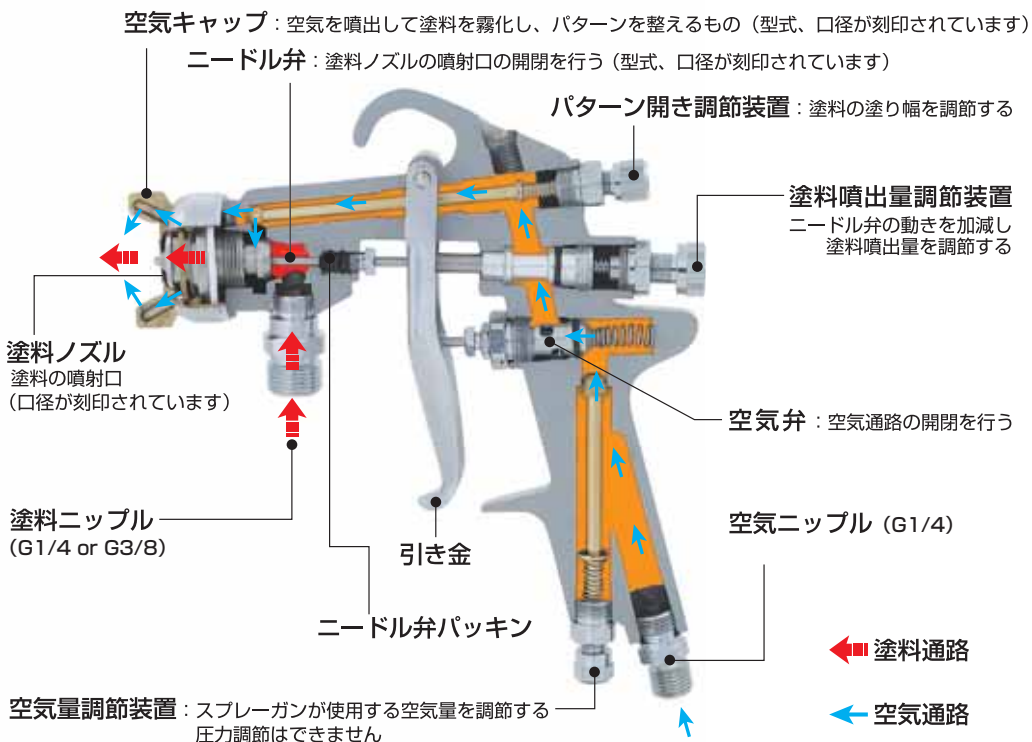


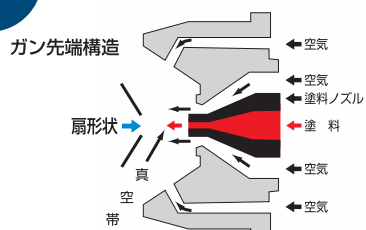
- 水分・油分…………… ドレントラップDTK、エアフィルター-AFK、AFAK
  - 適正吹き付け圧力…………… 減圧弁RGK
- 上記の機器を組合せて作業の合理化をお考え下さい。

■スプレーガンの構造と機能

■圧縮空気によって塗料を霧化し、被塗装物に付着させて塗装する機器です。



スプレーガンの種類と特長



■スプレーガン型式の見方  
(例) CREAMY97 S-15

- 塗料ノズル口径 (Z-Zは特殊タイプです)
  - 塗料供給方式
    - S: 吸上式 (KSタイプの塗料容器併用)
    - A・G: 重力式 (KGタイプの塗料容器併用)
    - P: 圧送式 (圧送タンクの塗料容器併用)
    - Z: 加圧式 (KZタイプの塗料容器併用)
- スプレーガン本体の種類

- 吸上式 (S)
  - ・塗料容器がスプレーガンの下部にあり、一定圧の空気が空気キャップと塗料ノズルの間を通過する時に生じる真空帯によって塗料が吸上げられる。
  - ・操作上の安定性が良い。
  - ・塗料の交換、洗浄が容易である。
- 重力式 (A・G)
  - ・塗料容器がスプレーガンの上部に付いており、塗料が自重で塗料ノズルに流れこむ。
  - ・部分補修塗装に良い。
  - ・色変えが多い場合。
  - ・吹き付け方向が塗料容器の位置で自由に選べる。
- 加圧式 (Z)
  - ・吸上式の作用に合わせ、一定圧の空気が塗料容器にかかり圧力で塗料を押し出しその相乗作用により塗料を被塗装物に付着させる。
  - ・高粘度の塗料の吹き付けが可能である。
  - ・塗料の飛散が極めて少ない。
  - ・作業時間の短縮ができる。
- 圧送式 (P)
  - ・別に設けた塗料圧送タンクに一定圧力の空気が加わり塗料をスプレーガンのノズル先まで圧送し、スプレーガンの空気キャップにより塗料を霧化させる。
  - ・工場ライン、大物塗装等の連続作業に適している。
  - ・吹き付け方向、スプレーガンのふりまわしが容易である。
  - ・手元重量が軽い。